

ゴールド・デマンド・トレンド

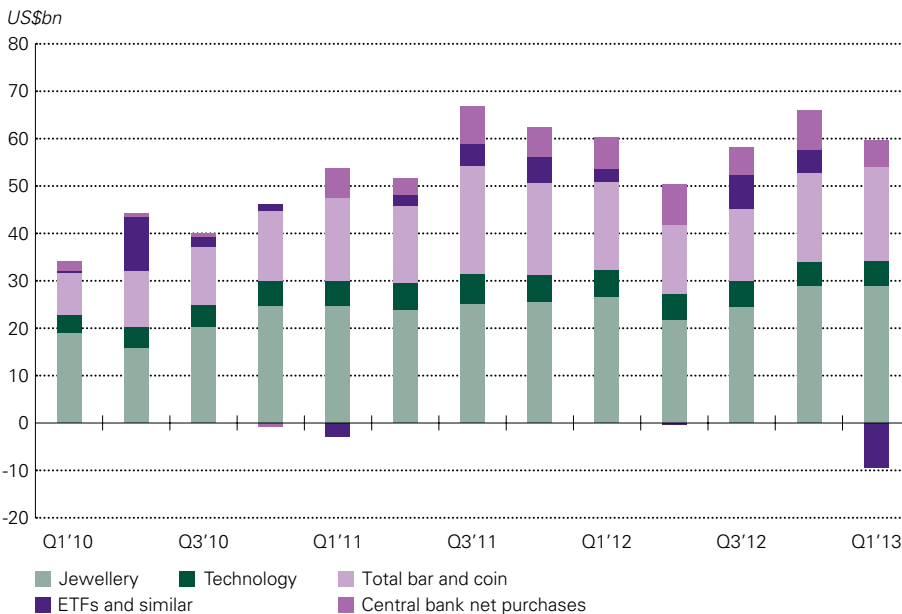
2013年第1四半期

2013年5月号

www.gold.org

第1四半期の世界の金需要は963.0トン、金額ベースで505億米ドルでした。金宝飾品、金地金・金貨など消費者需要が大きく伸びたものの、金ETF(上場投資信託)の大幅な流出がそれを上回り、全体ではトンベースで前年同期比13%減となりました。

分野別金需要(金額ベース)



Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

目次

概要	02
世界の金市場—2013年	06
宝飾品	06
投資	08
テクノロジー	10
中央銀行	11
供給	12
金需要統計	13
付録	21
注記および定義	25

寄稿者

Louise Street
louise.street@gold.org

Johan Palmberg
johan.palmberg@gold.org

Juan Carlos Artigas
juancarlos.artigas@gold.org

Marcus Grubb
 マネージング・ディレクター、インベストメント
marcus.grubb@gold.org



概要

第1四半期に、金宝飾品、金地金・金貨の需要は大幅に回復しましたが、全体の需要は13%減となりました。ETFからの流出が減少の大半を占め、この分を除けば全体の需要は前年同期よりも増加しました。

インドと中国は、両市場とも宝飾品と金地金・金貨の両方で少なくとも20%の需要増加となり、再び成長のけん引役となりました。中央銀行の需要は7四半期連続で100トンを超えましたが、例外的なペースで購入が進んだ2012年通年と比べると、やや減速しています。テクノロジー需要は、ボンディングワイヤ需要がさらに減少し、歯科用途需要の減少も続いたことから減少しました。

表1: 2013年第1四半期金需要概要

	Tonnes				US\$m			
	Q1'12	Q1'13	5-year average	Year on Year % change	Q1'12	Q1'13	5-year average	Year on Year % change
Jewellery	490.8	551.0	500.5	12	26,677	28,907	20,126	8
Technology	105.8	102.0	109.8	-4	5,752	5,351	4,441	-7
Investment	395.8	200.8	370.5	-49	21,511	10,533	15,378	-51
Total bar and coin demand	342.5	377.7	281.3	10	18,619	19,814	11,997	6
ETFs and similar products	53.2	-176.9	89.2	-	2,892	-9,281	3,380	-
Central bank net purchases	115.2	109.2	40.1	-5	6,259	5,730	2,344	-8
Gold demand	1,107.5	963.0	1,020.8	-13	60,199	50,521	42,289	-16

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

第1四半期、世界の金市場では消費者レベル(いわゆる「リテール」投資商品である金地金・金貨、および金宝飾品)で注目すべき強い需要が見られました。同四半期は大半の通貨で金価格が下落しました。これまでのところ第2四半期も金需要は活発で、第1四半期に広く見られた需要パターンはその前触れであったと考えられます。

ただし、同四半期の平均金価格は2012年第1四半期よりはおおむね高く、需要増加が価格下落だけによるものではなかったことが示唆されます。同四半期の様々な需要のドライバーについては第1四半期のレビュー(6ページ)で詳述します。

消費者の宝飾品需要が拡大

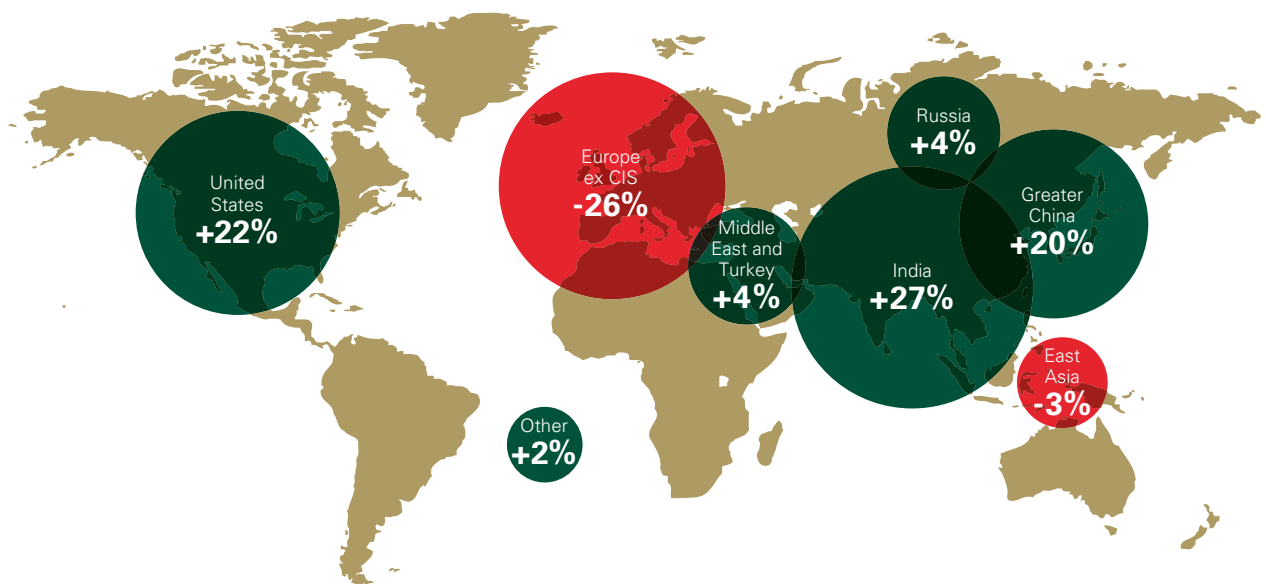
第1四半期の金宝飾品の需要は、世界各国の消費者が存在感を示したことから多くの市場で回復し、金額ベースで289億米ドルと過去最高を記録しました。消費者の需要を喚起するうえで、経済、人口動態、そして政治的要因が金価格と同程度に重要な役割を果たしました。このことから金需要には様々なドライバーが存在することがわかります。

第1四半期はインドと中国が再び需要拡大をけん引しました。同四半期は両国とも市場の状態が良好で、合わせて世界の宝飾品需要の62%を占めました。中国では、旧正月関連の金購入のため伝統的に第1四半期の需要が高まりますが、今期は過去のピーク時の需要をすべて上回り、四半期ベースで過去最高を更新しました。2012年の終わりに次期政治指導部が決まったことで中国の経済見通しに関する信頼が戻り、不透明性が解消したことが、需要回復につながりました。

インドの宝飾品市場は、春の収穫が豊作だったこと、それが農村地域の所得にプラスに影響したこと、2012年に対米ドルで下落したルピーが若干回復し、2月に金の現地価格が低下したこと、そして第2四半期の婚礼シーズンのための準備が始まったことなどの好環境が有利に働きました。結果的に、1月後半の金輸入税引き上げによるマイナスの影響は、これらのプラス要因によってほぼ相殺されました。

同四半期もインドと中国の需要が抜きん出ていましたが、その他の多くの市場でも宝飾品需要は増加しました。特に顕著だったのは米国です。インドと中国を除く世界の宝飾品需要は若干増加し、米国の経済不安の後退に伴って市場のセンチメントが高まっている可能性を示しています。中東市場では近年の政情不安の後の「正常化」が継続しており、ロシアの中間層は成長を続けています。

図1: 国別総消費者需要の前年同期比(トンベース変化、%)



- 消費者レベルの需要(金宝飾品、金地金・金貨)は増加
- 主な成長地域はインド、中国、米国

Note: Consumer demand comprises of jewellery and total bar and coin demand. Middle East and Turkey comprises of Saudi Arabia, Egypt, UAE, Other Gulf and Turkey; East Asia comprises of Indonesia, South Korea, Thailand and Vietnam.

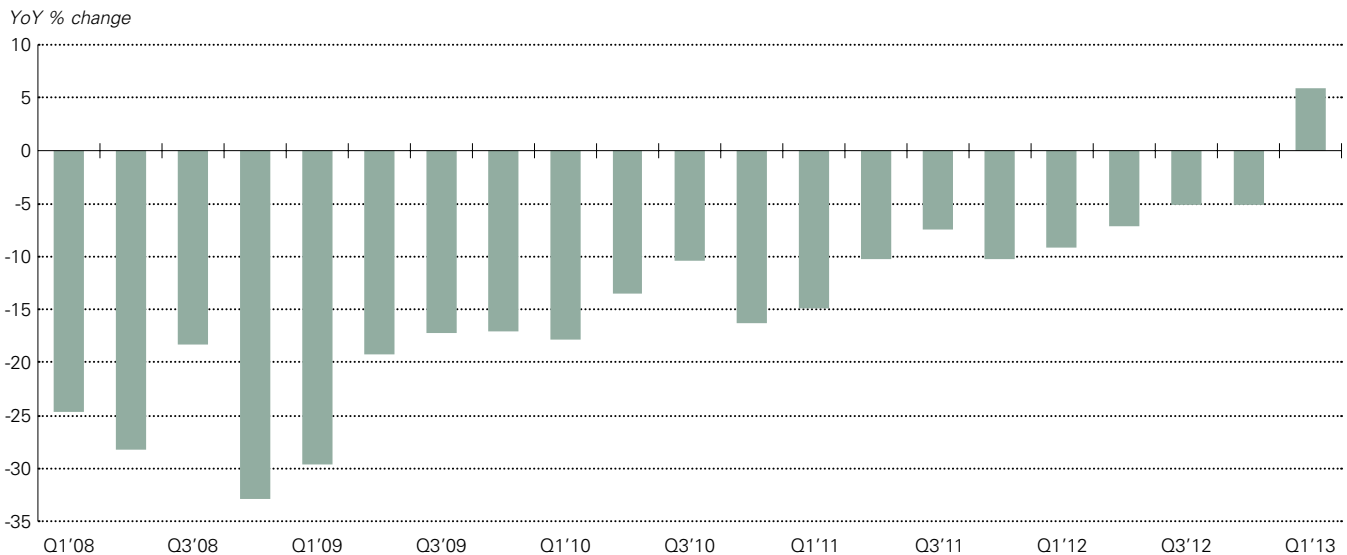
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

米国の金宝飾品需要は2012年後半に減少幅が大幅に縮まり、第1四半期には2005年第3四半期以来、前年同期比で初めて増加しました(図2)。金額ベースでの世界需要は9億8,600万米ドルに達しました。過去のデータを振り返ると、第1四半期の需要が最後にこの数字を上回ったのは、世界金融危機が最も深刻になる前の2008年第1四半期でした。

米国の宝飾品市場を見ると、上位クラスの消費者では近年の景気低迷の影響が比較的小さかったものの、量販店や低位レベルの消費者は大きな打撃を受けました。需要の減少は、失業率の高さ、実質賃金の低下、上昇する金価格を背景とした消費者心理の弱さを示したものでした。より軽量な商品へのシフト — 金の重量を減らして売れ筋の価格帯にする — は顕著であったものの、小売業者が低カラット商品をラインナップに加えて提供商品の質を下げることを躊躇したために、需要の弱さはさらに悪化しました。しかし、消費者心理の改善に伴い、金の需要も改善しつつあるようです。

低価格帯の宝飾品分野の小売業者は、顧客の中に金に対する根本的な需要が存在すると報告しており、ここ数四半期で低価格帯の宝飾品需要にある種のパラダイムシフトが起こっていると考えられます。金宝飾品の需要は価格と強い負の相関関係がありますが、金メッキした銀商品の分野が成長しているという事実から、金宝飾品に対する根本的な需要が大きいことがわかります。米国の経済指標には、消費者心理の暫定的な改善や住宅市場の継続的な回復が表れており、金宝飾品需要も同様の動きを見せる可能性があります。また、昨年第4四半期に子供向け商品の需要が強かったことが非公式に報告されていますが、これは将来世代の金への愛着を確立する可能性があることから、宝飾品市場の長期的安定の良い前兆と言えるでしょう。

図2: 米国の宝飾品需要:分岐点を越えたか?



- 米国の金宝飾品需要は、消費者心理の改善に合わせて上向いている模様
- 消費者需要が前年同期比で増加したのは7年以上ぶり

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

金投資は投資の分散を実現

第1四半期には投資需要でもインド、中国、米国のリテール投資家が最前線に立ち、これらの市場で金地金・金貨の需要が大きく増加しました。実際のところ、同四半期には世界の多くの市場で金投資の増加が見られ、投資資産としての金のファンダメンタルズが再び注目を浴びました。

ワールド ゴールド カウンシルでは以前から金投資市場が二分されていると指摘してきました。第1四半期は金地金・金貨の需要の大幅な増加と、対照的にETFからの大幅な流出が見られ、この傾向が特に明確に表れました。

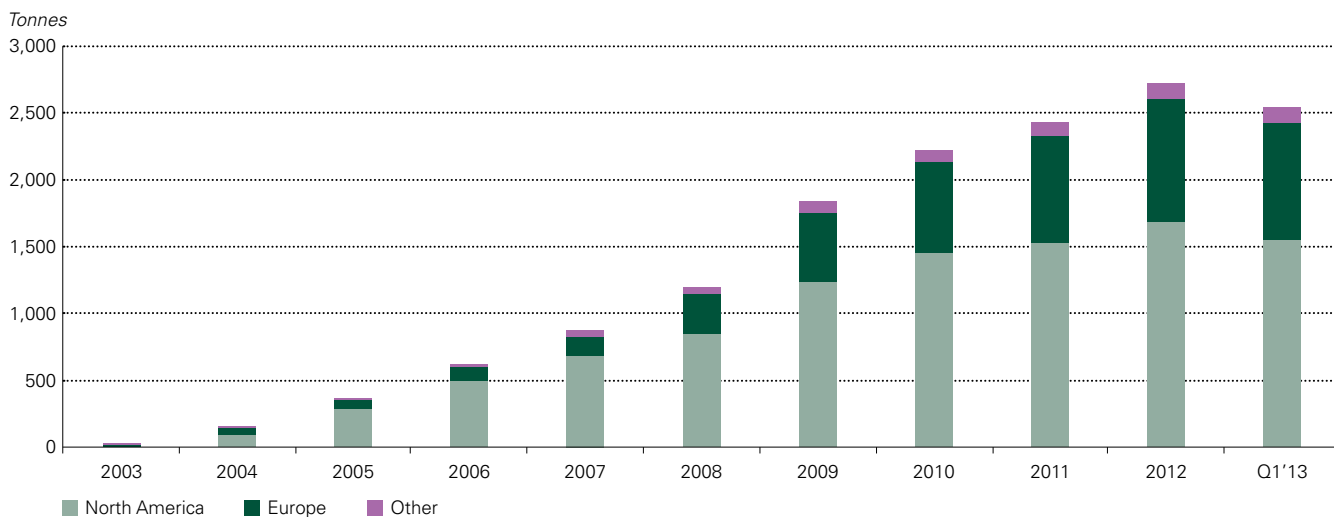
投資の世界は多くの異なる要素から成り立ちますが、大きく「リテール投資家」と「機関投資家」の2つのグループに分けられます。第1四半期は金価格が直近のピークから下落し、2つのグループは違った反応を見せました。このことは、両グループの需要ドライバーがしばしば異なるということを如実に示しています。

金価格が第4四半期の高値から下落したことを受け、リテール投資家は金地金・金貨需要を増加させました。このグループが金を保有する根本的な理由は時間がたっても変わりません。彼らは資産保全と長期インフレに対するヘッジという金の役割を評価しているのです。従って第1四半期の金価格の下落は、このグループにとって金投資を積み増す絶好の機会となりました。

これとは対照的に、一部の機関投資家が金を保有する根拠は大きく異なり、より短期的で投機的なアプローチを採用します。このグループの中の一部の日和見的で「イベントドリブン」な投資家が、保有ETFを売却することで第1四半期の価格下落に反応しました。この反応は、長期保有していたポジションの利益確定、最近構築したポジションの損切り、他の投資チャネルへの切り替えなどいくつかの要因によって引き起こされた可能性があります。最終的には、金ETFから176.9トンの純流出となりました。しかし、第1四半期の流出は同期間のETF金保有のわずか7%の減少に過ぎず、またETF売却の一部は、すでに大きな流れとなっている株式へのシフトの結果であった可能性もあることを、念頭に置くことは必要です¹。

3月末時点のETF金保有高は、地上に存在する金在庫17万5,000トンのわずか1%でした。同様に、第1四半期はETFからの大幅な流出があり、全体の金需要のデータに大きな影響を与えましたが、民間投資家が保有する金全体に占める割合という意味ではわずかなものでした。金保有のほとんどは、金の基本的長期投資特性を重視する投資家によって長年にわたり積み上げられてきたものです。彼らは同じ理由から、これらのポジションの保有を継続しています。これは同四半期にETFポジションを売却した投資家の一部にもあてはまるでしょう。というのは、ここ数週間、ETFから貴金属口座へシフトしたことを示す報告が大幅に増えています。このことから、一部の投資家は金に対するポジティブな見方を維持しているものの、その表現方法が異なっていることが示唆されます。

図3: 国別ETF金保有(トンベース、2013年第1四半期まで)



- 第1四半期の176.9トンの流出は、ETF金保有の7%の減少に相当
- ETF金保有は、金の地上在庫全体のわずか1%

Note: Gold holdings are as reported by the ETF/ETC issuers. Where data is unavailable, holdings have been calculated using reported AUM numbers.

Source: Bloomberg, Respective ETF/ETC providers, Thomson Reuters Datastream, World Gold Council

1 『Gold in the Great Rotation』、Gold Investor、Volume 2、2013年4月、ワールド ゴールド カウンシル

世界の金市場— 2013年第1四半期

宝飾品

2012年第4四半期の宝飾品分野の需要回復は、2013年第1四半期に入っても続きました。世界の宝飾品需要は551トンで、金額ベースでは289億米ドルと、前四半期の記録を更新しました。需要は金価格の下落や多くの市場の景気回復の兆しに反応しました。世界の宝飾品需要の62%を占めるインドと中国の2大市場は、それぞれ前年同期比で15%、19%の需要増を記録しました。

中国の金宝飾品需要は、四半期ベースで過去最高となる603億元まで急増しました。国内経済の強さに関する心理が改善し、旧正月に関連した1月の金の購入や贈答が増加しました。第4四半期には政治指導部の交代も消費者の懸念材料でしたが、その不確実性が解消したことから、祝祭シーズン向けの購入が刺激されました。需要は主に24カラット宝飾品に集中しましたが、18金宝飾品への需要も堅調でした。

第1四半期、インドの金宝飾品需要は金額ベースで4,533億インド・ルピーとなり、2012年第4四半期の過去最高をわずか1%下回りました。トンベースでは、比較的需要が弱かった2012年第1四半期と比べて若干よく見える程度の増加ですが、それでも今期の数字は5年間の四半期平均(145.0トン)を10%上回っています。需要増加は主に豊作の影響で所得が増加した農村地帯の世帯がけん引しました。また、同四半期に金の現地価格が4%下落し、4月の婚礼シーズンの準備のための宝飾品購入をタイミング良く刺激することになりました。

米国の宝飾品市場は、第1四半期の宝飾品需要が前年同期比で7年以上ぶりに増加し、分岐点に到達したようです。米国経済の回復を示すポジティブな指標が増えたことも、同四半期の金価格の調整と併せて、宝飾品の消費者にとってプラスの環境となりました。価格を重視する大量消費市場では、金に対する基本的需要が強いことを意識したディスカウント小売業者が、再び手ごろな価格での金商品の提供を始めました。米国の消費者が、贈答に利用したり相続したりできる金の「相続財産」という面を重視し、ある意味投資として金宝飾品を見るようになってきているという話も聞かれます。

欧州市場は米国市場のようにポジティブな状況とはならず、イタリアと英国では正反対の四半期となりました。両市場の需要は、厳しい経済状況、低カラット金宝飾品や銀・非貴金属商品へのシフトが続いたことを反映して、それぞれマイナス12%、マイナス7%となり、最低を更新しました。

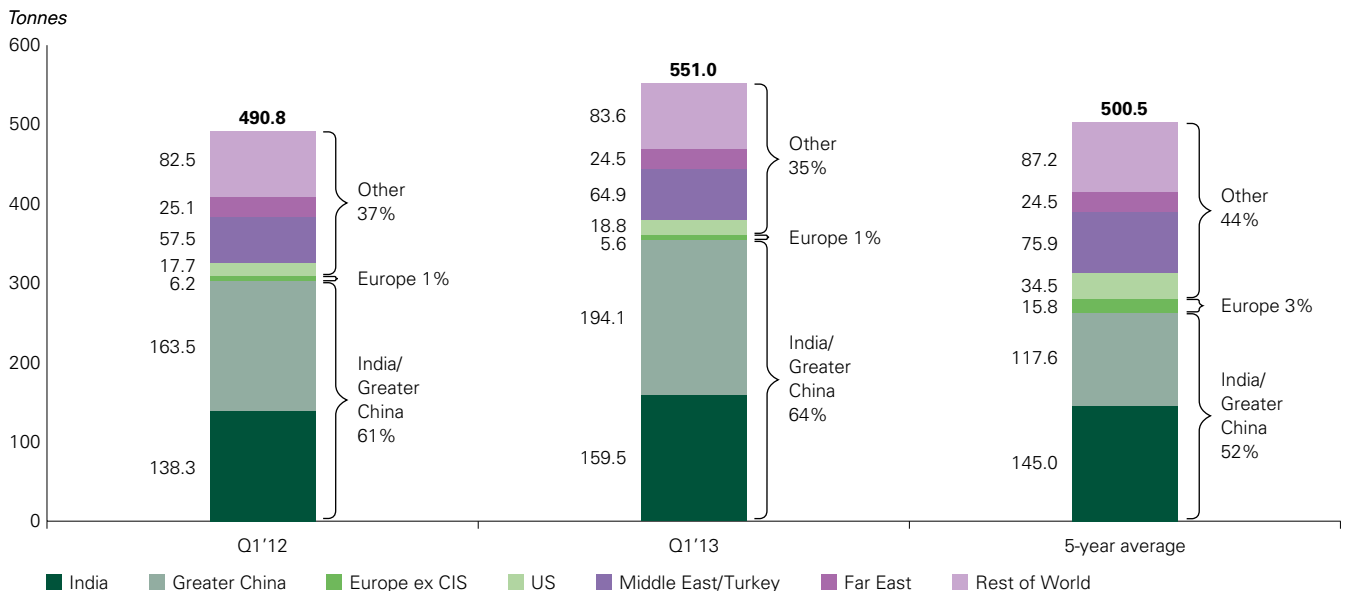
ロシアの宝飾品需要は17.3トンで、5年間の四半期平均とまったく同じでした。この数字は、増加する中間層の金に対する強い欲求や、若い世代にアピールするようデザインされた宝飾品商品の増加を反映しています。ただし今後は、国内経済の大幅な減速が同セクターの需要増加を抑える可能性があります。

中東市場全体の宝飾品需要は第1四半期に回復しました。エジプトの需要は、アラブの春前の水準へ向けた「正常化」が継続したことから、前年同期比で34%増加しました。UAEの需要増加は、主に域内に居住するインド人消費者による22カラット金宝飾品の購入がもたらしたものです。中東のその他の市場では、主に金価格の下落に対するポジティブな反応として需要が増加したことがうかがわれます。

トルコでは価格の下落が宝飾品需要をけん引しました。需要の合計は16.5トン(金額ベースでは15億トルコリラ)でした。消費者は1月には購入チャンスをうかがっている状態でしたが、2月に現地金価格が大きく下落したことを受け、同月に需要が集中しました。

その他の小規模なアジア市場では、ほとんどの地域で金宝飾品需要は活発ではありませんでした。ただしインドネシアは、金価格が下落した時点で価格の反発を見込んだ消費者が金を買込み、例外的な結果となりました。日本では、円安が現地金価格を過去最高に押し上げ、大衆消費市場での輸入物の金は驚くほど値上がりしました。しかし、上位クラスの消費者は比較的影響を受けず、このクラスの需要は比較的安定していました。その他のアジア市場を見ると、韓国では消費者心理の弱さ、タイではリテール投資商品へのシフト、ベトナムでは可処分所得の低さと低カラット商品へのシフトなどを反映して、需要が減少しました。ベトナムでは政府の規制による輸入の減少も影響しました。

図4: 国別宝飾品需要 (2012年第1四半期、2013年第1四半期、5年間平均、トンベース)



- 消費者需要の回復が宝飾品セクターの強い成長を創出
- 第1四半期の需要は5年間の四半期平均を10%上回った

Note: Rest of World includes Russia and 'Other' countries.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

投資

前年同期比での投資の減少分はすべてETFからの純流出に起因しており、リテール・レベルの金地金・金貨投資の大幅な増加が打ち消されました。

店頭市場投資および在庫変動(市場における透明性の劣る機関投資家需要、ならびに統計上の残差分を含む)を含めた総投資は、2012年第1四半期から変わりませんでした。

金地金・金貨の需要は第1四半期に急増しましたが、金貨の需要が最も増加しました。増加分の多くがインド、中国、米国で生み出され、これら3市場で増加分の60%を占めました。金地金・金貨の需要は5年間平均を大幅に上回りました。

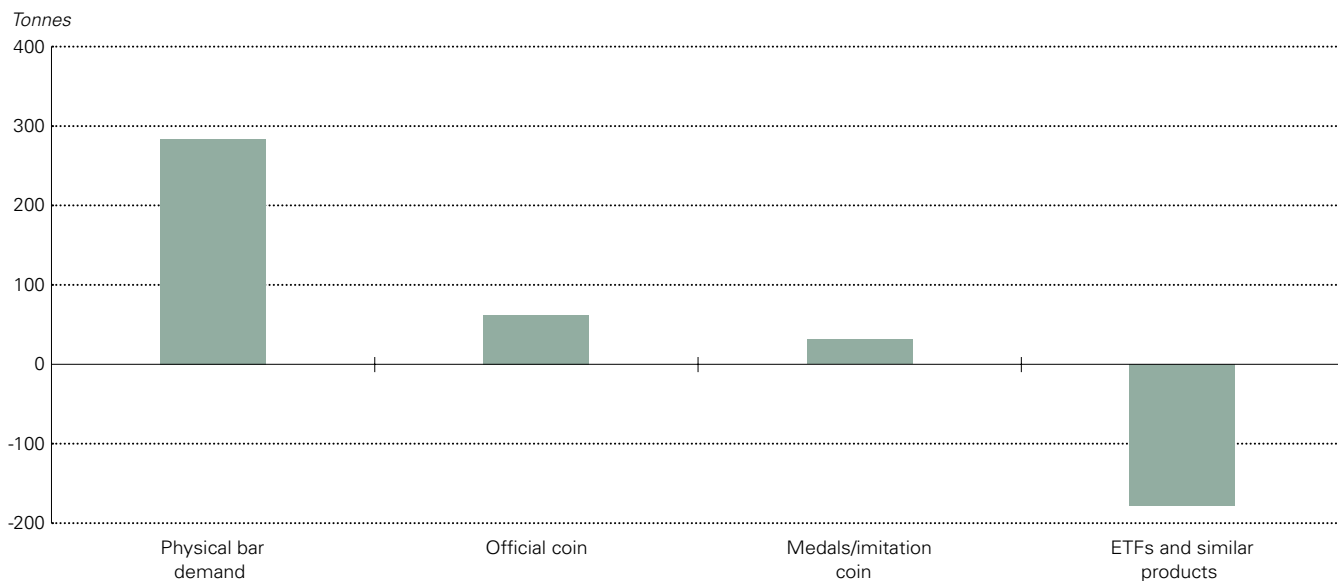
より投機的な投資家の間で金ETF保有額が確実に減少したことから、ETFは第1四半期に大幅な純流出となり、金地金・金貨の需要増加分を上回りました。ETF売却額は2012年のETF需要の約3分の2に相当し、ETF金保有全体の約7%でした。店頭市場投資および在庫変動はプラス120トンで、投資家がポジションを貴金属口座にシフトしたことによるETF流出の一部を

相殺しました。このような需要の要素は、投資家の安値買い狙いや、宝飾品トレーダーおよび小売業者による地金の先物買いを反映しており、どちらも価格の下落がきっかけとなったものです。

中国では、普遍的な金の魅力に加えて季節的要因がプラスに働き、四半期での金地金・金貨投資が過去最高を記録しました。投資需要は、5年間の四半期平均の43.8トンに対し、109.5トンまで増加しました。1月は旧正月関連の需要が活発でしたが、軟調な国内株式市場に失望した投資家が、その投資ニーズを満たすためにますます金に依存したことから、同四半期の金投資需要はその後も堅調なものとなりました。2月に不動産市場の規制方針が発表されたことから、金の投資特性への注目度がさらに高まっています。

大中華圏内では、香港と台湾が世界の金地金・金貨需要の増加に寄与しました。台湾の金預金口座²への強い関心が同市場の需要を増加させました。

図5: 分野別の投資需要(トン)



- 第1四半期は投資需要ドライバーの多様性が顕著だった。トンベースで金地金・金貨需要がETF流出を上回った

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

2 台湾の金預金口座(Gold Passbook)では、少額の金を購入しそれに相当する金額を口座に預け入れることが可能。

インドの投資需要は昨年同期の水準を52%上回りました。ここでも需要がかなり弱かった2012年第1四半期(為替変動と金輸入税導入のために市場が混乱した期間)との比較になりますが、同四半期の需要は5年間の四半期平均の71.2トンに匹敵します。金地金・金貨は引き続きインド投資家の大きな関心を集めました。1月の輸入税引き上げ(4%から6%)後も、市場の関心は衰えませんでした。インド市場は準備が整っており、昨年第4四半期に在庫が積み増されたことで、第1四半期に向けてかなりの在庫が確保されていました。1月後半に税率が引き上げられましたが、2月に現地金価格が下落したことから、投資家がこれを最大限に利用しようとして需要が勢いを増し、これらの在庫が放出されました。

米国の金地金・金貨投資は、2012年に大幅に減少した後、第1四半期に急増しました。金価格が第4四半期のピークから調整されたことから、投資家にとって金保有高を増やす良い機会となり、特に金貨の需要が堅調でした。米国造幣局の報告では、ほぼすべての額面のイーグル金貨で販売が増加しました(1/2オンス金貨は例外で、需要が非常に大きかった2012年第1四半期との比較で減少しました)。

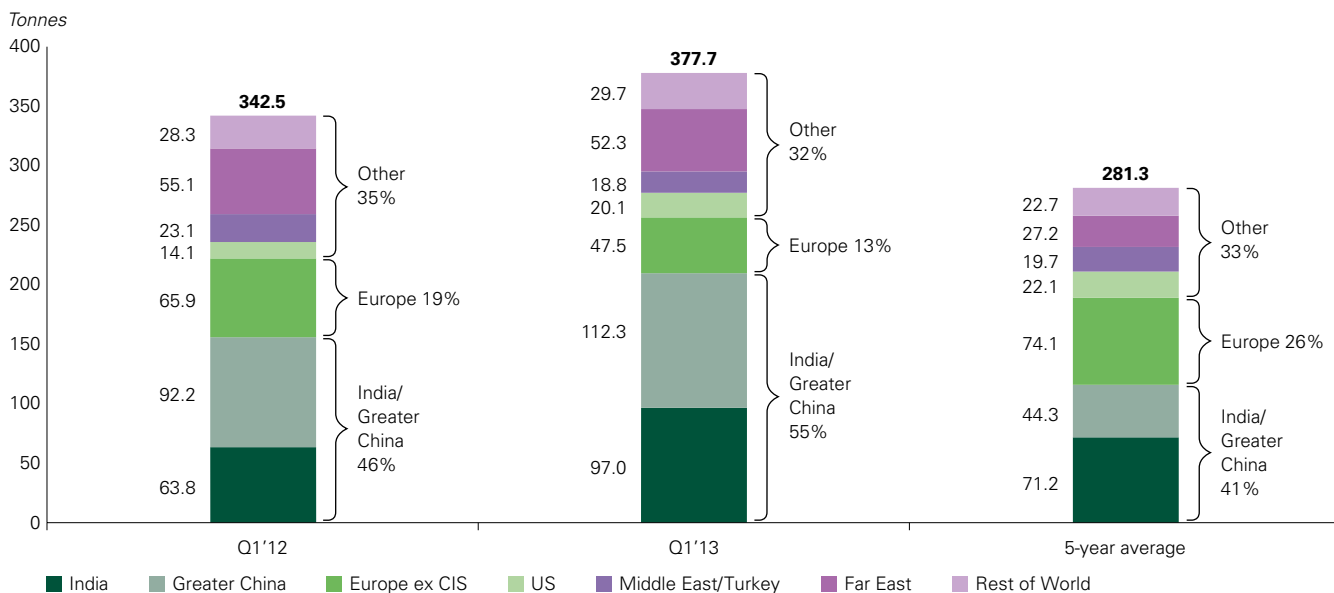
欧州の投資は大きく減少し、5年間で最低の水準となりました。同地域で注目されるのは、大幅な利益確定の動きがないにもかかわらず、全体の購入が減少したことです。欧州ソブリン債務危機に動きが見られないことが、投資増加を推進する新たな勢いの欠如に表れています。

タイでは第1四半期に投資が急増し、世界第3位の金地金・金貨市場になりました。タイは東アジア市場で唯一投資需要が増加しました。日本では主に高齢世代が、過去最高に達した現地価格で長期保有していた金の利益確定に動き、投資額は多かったものの、売却額がそれを上回りました。ベトナムでは、国の規制によってプレミアムが極端に押し上げられたことから投資家の金獲得が困難になりました。また、インフレ率が抑制されたために金購入の主な動機が弱まりました。

中東では、価格の下落を活用する投資家がいる一方で、さらなる価格調整を待つ投資家もいるなど動きが分かれ、全体として投資需要はほとんど変わりませんでした。

トルコでは、主に金貨需要が減少したことが原因で、投資需要は昨年同期の水準を下回りました。2月の金価格の下落によって価格上昇に対する期待が揺らぎ、消費者が投資をためらったことが需要の弱さにつながりました。多くの投資家は価格が反発するまで購入を延期しましたが、3月になると価格が上昇し、順当に需要が増加しました。

図6: 国別金地金・金貨需要(2012年第1四半期、2013年第1四半期、5年間平均、トンベース)



- 金価格の下落が、多くの市場、特にインド、中国、米国の金地金・金貨需要を押し上げ
- 需要は過去との比較では非常に強く、5年間平均を34%上回った

Note: Rest of World includes the 'Other' countries.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

テクノロジー

2013年第1四半期、テクノロジー分野の金需要は102.0トンと、前年同期比で4%減少しました。金額ベースでは54億米ドルで、7%減少しました。欧州経済が回復せず、新しい電気・電子製品に関する個人消費支出が停滞して消費者心理が落ち込んだことを反映し、同セクターは今期も低迷しました。

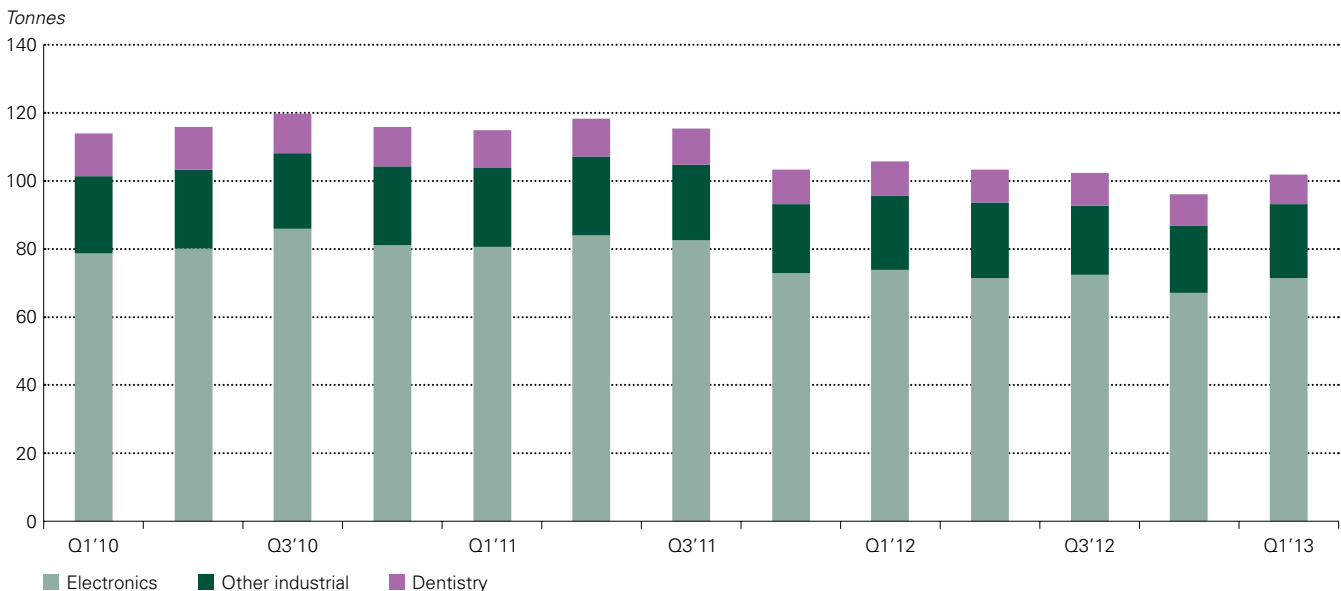
電子部品で使用される金の需要は合計で71.6トンと、前年同期比では3%減少しましたが、前四半期からは7%増加しました。半導体製造は、経済的な逆風と、その結果としての主要市場の消費者心理の落ち込みのために低迷しました。しかし、2年連続で減速した世界の国内総生産(GDP)は、今後プラスに転じると予想されます。半導体分野はおおむねGDPと正の相関関係にあるため、同分野も成長することが見込まれます。特にタブレット端末とスマートフォンの急速な拡大が必要に貢献していますが、半導体セグメントの他の分野の成長も注目に値します。中でも、多くのアプリケーションで制御やモニタリングの目的で利用される微小電気機械システム(MEMS)圧力センサーは、その市場シェアを大きく増やしました。自動車や急成長する電話端末分野で広く使われることで、この市場は今年、2012年の15億米ドルから17億米ドルに拡大すると予測されています³。しかしPCの生産が減少を続けるなど、すべての分野が増加するというわけではありません。

金ボンディングワイヤ市場で金のシェアが継続的に減少していることも、電子部品の金需要の減少に大きく影響しました。各種推計では、同市場に占める非貴金属ワイヤの割合が25%に近づいていることが示されています。以前は金のボンディングワイヤを用いていた高度な機器向けの半導体に、銅、さらに最近ではアルミニウムや銀の合金ベースのワイヤが導入されつつあり、今後は金の需要がいつそう減少すると予想されます。

その他の産業と装飾品の需要は、6四半期連続で前年同期から減少し、第1四半期は2%減の21.5トンでした。主要市場の経済の不安定性が、東アジア全体のメッキ用塩の需要を相殺しました。インドでは金メッキの装飾品の需要が増加しましたが、ジャリ(衣類に使用する金糸)の減少で打ち消され、全体の需要は変化しませんでした。イタリアは唯一明るさが見えた市場で、金メッキの高級アクセサリに対する堅調な需要が同国の需要増加の一定部分を占め、金メッキ需要が回復し始めたことを印象づけました。

歯科用途の金需要の長期的な減少トレンドに変化の兆しは見られず、第1四半期の需要は8.8トンと12%減少しました。長期的減少の大部分はコストに起因しており、消費者はより安価な卑金属代替品にシフトしました。見栄えが良いセラミックの生産技術向上は、同分野のコスト低下につながり、このことから金需要が急減したことを説明できます。需要減少はほぼすべての市場で見られますが、米国、日本、欧州の需要減少がその大部分を占めています。

図7: 分野別のテクノロジー需要(トン)



- テクノロジー需要は過去6四半期にわたり、約100トンでおおむね安定
- 歯科需要は引き続き減少。ボンディングワイヤ需要の減少が電子部品の分野で顕著

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

中央銀行

中央銀行は2013年第1四半期に金準備を109.2トン増やし、9四半期連続の純購入となりました。同セクターは第1四半期の金需要の11%を占め、金額ベースでは57億米ドルでした。購入水準は昨年同期を5%下回りましたが、過去2年の四半期ベースの需要(70~160トン)の範囲内でした。

金の購入水準が安定していることから、引き続き中央銀行や公的機関が、ポートフォリオにおけるドルとユーロの保有比率を減らす際に金の分散メリットを追求していることがわかります。このような配分のシフト、そしてポートフォリオ分散のために金が果たす役割に関する分析は、ワールドゴールド カウンシルが先日発表したリサーチペーパー「中央銀行の分散化戦略:米ドルとユーロ偏重からのリバランス」で取り上げられています。

第1四半期も世界各国の中央銀行が金準備を増加させましたが、中でも規模が大きかったのは新興国の中央銀行でした。

以前から金購入を進めている国の1つであるロシアは、国産の金を中央銀行が購入するプログラムを継続し、金準備を約24トン積み増しました。その他、ウクライナとカザフスタンも引き続き金準備を増加させています。

第1四半期末、韓国銀行は2月に金保有をさらに20トン増加させたことを発表しました。その結果、同行の金準備は104トンを超え、韓国は世界で34番目の金保有国となりました。

アゼルバイジャンの中央銀行が、金準備を増加させた国に加わりました。同国中央銀行は、国営石油ファンドのSOFAZを通して第1四半期に3.0トンの金を購入したことを報告しました。SOFAZはポートフォリオの5%⁴まで金を保有することを認められており、現在約18トンの金を保有していると報告しています。

インドネシアも、中央銀行が新たに金準備を増加させた国の1つです。インドネシア銀行は12月と1月に小規模な金購入を2回実施し、3トン近く金準備を増加させたと報告しました。インドネシアの中央銀行が金保有高を変動させたのは、2006年下半年に合計23トンの大幅な売却を行って以来のことです。

第1四半期、中央銀行金売却協定(CBGA)調印国による金の売却はありませんでした。第3回協定に基づく累積売却量は現在200トン弱で、同協定に基づいて現在までに認められる1,600トンに対してわずかな量にとどまっています。CBGA調印国以外による売却も同四半期にはほとんどなく、メキシコがトレーディングに関連してわずかに売却したことを報告しています。

表2: 公的セクターの金保有高上位40カ国(報告ベース、2013年3月時点)

		Tonnes	% of reserves			Tonnes	% of reserves
1	United States	8,133.5	76%	21	Austria	280.0	55%
2	Germany	3,391.3	72%	22	Belgium	227.4	40%
3	IMF	2,814.0	-	23	Philippines	192.7	12%
4	Italy	2,451.8	72%	24	Algeria	173.6	4%
5	France	2,435.4	70%	25	Thailand	152.4	4%
6	China	1,054.1	2%	26	Singapore	127.4	2%
7	Switzerland	1,040.1	10%	27	Sweden	125.7	10%
8	Russia	981.6	10%	28	South Africa	125.1	13%
9	Japan	765.2	3%	29	Mexico	124.2	4%
10	Netherlands	612.5	59%	30	Kazakhstan	122.9	22%
11	India	557.7	10%	31	Libya	116.6	5%
12	ECB	502.1	33%	32	BIS	116.0	-
13	Taiwan	423.6	5%	33	Greece	112.0	82%
14	Turkey	408.9	17%	34	Korea	104.4	2%
15	Portugal	382.5	90%	35	Romania	103.7	11%
16	Venezuela	365.8	65%	36	Poland	102.9	5%
17	Saudi Arabia	322.9	2%	37	Australia	79.9	9%
18	United Kingdom	310.3	15%	38	Kuwait	79.0	11%
19	Lebanon	286.8	28%	39	Indonesia	75.9	4%
20	Spain	281.6	29%	40	Egypt	75.6	28%

For information on the methodology behind this data, as well as footnotes for specific countries, please see our table of Latest World Official Gold Reserves, at http://www.gold.org/government_affairs/gold_reserves/

Source: IMF, World Gold Council

4 State Oil Fund of the Republic of Azerbaijan Investment Policy, http://www.oilfund.az/en_US/asset_management/investisiya_qaydalari.asp

供給

第1四半期の金の総供給は1,051.6トンと、前年同期からほとんど変わりませんでした。 鉱山生産は前年同期比でわずかに増加しましたが、リサイクル金の供給が同程度減少したことにより相殺され、結果として総供給は1%の増加となりました。

2013年第1四半期の鉱山生産は688.0トンで、前年同期を4%上回りました。 鉱山生産は引き続き過去4年間の緩やかな増加トレンドの範囲内にあり、第1四半期の生産は5年間の四半期平均の671.9トンを2%上回りました。

多くの国で鉱山生産が前年同期を上回りましたが、増加分に最も寄与したのは、2012年にパリック社のプエブロ・ビエホ鉱山が生産を開始したドミニカ共和国でした。中国もまた、主に中小鉱山会社からの供給が増加し、大きく貢献しました。その他、カナダとブラジルでは多くの鉱山が生産増加に寄与し、メキシコではゴールドコープ社のペニャスキート鉱山が引き続き生産を拡大しました。

これとは対照的に、ペルー、ガーナ、南アフリカの供給量は、それぞれ前年同期比で2~3トン減少しました。

第1四半期、産金会社によるヘッジ解消が新たなヘッジをわずかに上回り、3トンのネット・ヘッジ減少となりました。 世界の金ヘッジ残高が3月末で約120トンと非常に少ないこともあり、ヘッジおよびヘッジ解消の動きはともに控えめなものでした。同四半期にはベトロパブロフスク社が12トンのヘッジを行いました。他の多くの鉱山会社による引き渡しをこれを上回りました。

産金会社は若干のファイナンス関連のヘッジを除き、新たなヘッジに対してほとんど意欲を示していないことから、今後も数四半期にわたってわずかなネット・ヘッジ減少という状態が続くと予想されます。

リサイクル金の供給は4%減少の366.6トンで、同セグメントは4四半期連続で前年同期を下回りました。 減少の主な原因は金価格に関係するものではなく、経済的要因あるいは供給可能な金の継続的な減少によるものです。欧州市場でのリサイクルは、市場に近い中古金が実質的に枯渇してしまったことを主な原因として、急激に減少しました。日本では対照的に、現地金価格が過去最高を記録したことを受けて、特に高齢世代で利益確保のための売りが活発になり、供給が増しました。その他では、東南アジアと中東の多くの国でリサイクル金の供給が減少しました。

図8: 四半期ベースの金供給量(トン)



- リサイクルは4%減少。4四半期連続で前年同期から減少
- 総供給はほとんど変わらず、前年同期比で1%増

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

金需要統計

表3: 金需要(トン)

	2011	2012	Q2'11	Q3'11	Q4'11	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13 ¹	Q1'13 vs Q1'12 % chg	4-quarter % chg ²	Share of total %
Jewellery	1,975.1	1,895.4	491.0	457.0	472.5	490.8	420.8	462.1	521.7	551.0	12	2	57
Technology	451.7	407.5	118.2	115.2	103.4	105.8	103.3	102.1	96.2	102.0	-4	-9	11
Electronics	319.9	284.5	84.1	82.7	72.7	73.8	71.4	72.3	67.0	71.6	-3	-10	7
Other industrial	88.9	84.4	23.2	22.1	20.3	22.0	22.1	20.5	19.9	21.5	-2	-4	2
Dentistry	42.9	38.6	10.8	10.5	10.4	10.0	9.8	9.3	9.4	8.8	-12	-11	1
Investment	1,698.5	1,525.8	389.9	507.1	461.6	395.8	284.1	422.0	423.9	200.8	-49	-24	21
Total bar and coin demand	1,513.4	1,246.7	335.8	419.8	357.2	342.5	284.1	284.2	335.8	377.7	10	-12	39
Physical bar demand	1,180.4	935.8	260.6	325.3	280.4	263.2	209.9	210.5	252.1	284.4	8	-15	30
Official coin	245.2	197.5	50.2	74.5	58.7	52.8	51.4	43.9	49.4	62.6	18	-12	6
Medals/imitation coin	87.8	113.4	25.0	20.0	18.1	26.5	22.8	29.7	34.3	30.8	16	31	3
ETFs and similar products ³	185.1	279.0	54.1	87.4	104.4	53.2	0.0	137.8	88.1	-176.9	-	-84	-
Central bank net purchases	456.8	533.2	66.2	140.8	112.8	115.2	161.4	110.2	146.4	109.2	-5	21	11
Gold demand	4,582.1	4,361.9	1,065.4	1,220.2	1,150.2	1,107.5	969.7	1,096.4	1,188.2	963.0	-13	-7	100
London PM fix (US\$/oz)	1,571.5	1,669.0	1,506.1	1,702.1	1,688.0	1,690.6	1,609.5	1,652.0	1,721.8	1,631.8	-3	0	

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended March 2013 vs 12 months ended March 2012.

3 For a listing of the Exchange Traded Funds and similar products, please see the *Notes and definitions*.

Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表4: 金需要(百万米ドル)

	2011	2012	Q2'11	Q3'11	Q4'11	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13 ¹	Q1'13 vs Q1'12 % chg	4-quarter % chg ²
Jewellery	99,794	101,708	23,777	25,007	25,641	26,677	21,775	24,543	28,882	28,907	8	3
Technology	22,823	21,865	5,722	6,306	5,611	5,752	5,348	5,423	5,325	5,351	-7	-8
Electronics	16,164	15,266	4,075	4,523	3,946	4,010	3,696	3,841	3,708	3,759	-6	-9
Other industrial	4,493	4,530	1,125	1,207	1,103	1,196	1,142	1,087	1,100	1,130	-6	-4
Dentistry	2,166	2,069	523	576	563	546	509	495	518	462	-15	-10
Investment	85,816	81,871	18,881	27,752	25,050	21,511	14,702	22,411	23,468	10,533	-51	-24
Total bar and coin demand	76,466	66,898	16,260	22,972	19,384	18,619	14,703	15,095	18,591	19,814	6	-12
Physical bar demand	59,642	50,212	12,618	17,801	15,220	14,307	10,862	11,183	13,955	14,918	4	-15
Official coin	12,388	10,600	2,429	4,076	3,184	2,870	2,661	2,333	2,735	3,282	14	-12
Medals/imitation coin	4,436	6,086	1,212	1,094	980	1,442	1,180	1,579	1,901	1,614	12	33
ETFs and similar products ³	9,350	14,973	2,621	4,780	5,666	2,892	-1	7,317	4,877	-9,281	-	-82
Central bank net purchases	23,081	28,609	3,207	7,708	6,121	6,259	8,353	5,855	8,102	5,730	-8	20
Gold demand	231,513	234,053	51,588	66,773	62,423	60,199	50,178	58,232	65,777	50,521	-16	-7

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended March 2013 vs 12 months ended March 2012.

3 For a listing of the Exchange Traded Funds and similar products, please see the *Notes and definitions*.

Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表5: 総投資需要(特に記載される場合を除きトン)

	2011	2012	Q2'11	Q3'11	Q4'11	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13 ¹	Q1'13 vs Q1'12 % chg	4-quarter % chg ²
Investment	1,698.5	1,525.8	389.9	507.1	461.6	395.8	284.1	422.0	423.9	200.8	-49	-24
Total bar and coin demand	1,513.4	1,246.7	335.8	419.8	357.2	342.5	284.1	284.2	335.8	377.7	10	-12
Physical bar demand	1,180.4	935.8	260.6	325.3	280.4	263.2	209.9	210.5	252.1	284.4	8	-15
Official coin	245.2	197.5	50.2	74.5	58.7	52.8	51.4	43.9	49.4	62.6	18	-12
Medals/imitation coin	87.8	113.4	25.0	20.0	18.1	26.5	22.8	29.7	34.3	30.8	16	31
ETFs and similar products ³	185.1	279.0	54.1	87.4	104.4	53.2	0.0	137.8	88.1	-176.9	-	-84
OTC investment and stock flows ⁴	-83.8	45.8	58.7	-29.3	21.9	-75.0	114.1	56.5	-49.8	119.6	-	-
Total investment	1,614.7	1,571.6	448.6	477.9	483.5	320.8	398.2	478.5	374.1	320.4	0	-9
Total investment US\$mn	81,582	84,329	21,721	26,151	26,241	17,436	20,605	25,413	20,711	16,809	-4	-9

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended March 2013 vs 12 months ended March 2012.

3 For a listing of the Exchange Traded Funds and similar products, please see the *Notes and definitions*.

4 For an explanation of OTC investment and stock flows, please see the *Notes and definitions*.

Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表6: 平均金価格(四半期ベース)

	2011	2012	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q1'13 vs Q1'12 % chg
US\$/oz	1,571.5	1,669.0	1,690.6	1,609.5	1,652.0	1,721.8	1,631.8	-3
€/oz	1,129.9	1,298.7	1,289.3	1,254.7	1,320.2	1,328.8	1,235.6	-4
£/oz	980.8	1,053.0	1,075.8	1,016.6	1,045.3	1,072.6	1,051.6	-2
CHF/kg	44,649.6	50,323.7	50,061.8	48,464.7	51,088.5	51,603.7	48,792.5	-3
¥/g	4,015.8	4,278.2	4,312.8	4,144.4	4,174.8	4,478.6	4,834.7	12
Rs/10g	23,624.1	28,639.4	27,287.8	28,004.8	29,302.1	29,964.7	28,420.8	4
RMB/g	326.3	338.5	343.0	327.6	337.3	345.7	326.5	-5
TL/g	85.4	96.6	97.6	93.5	95.8	99.3	93.6	-4

Source: Thomson Reuters Datastream, World Gold Council

表7: 金の需要と供給(ワールド ゴールド カウンシル表記)

	2011	2012	Q2'11	Q3'11	Q4'11	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13 ¹	Q1'13 vs Q1'12 % chg	4-quarter % chg ²
Supply												
Mine production	2,838.1	2,856.8	710.8	741.9	724.9	663.0	705.2	743.3	745.3	688.0	4	1
Net producer hedging	10.8	-39.8	14.3	3.7	-15.2	-1.3	-8.0	1.3	-31.8	-3.0	-	-
Total mine supply	2,848.9	2,817.0	725.1	745.6	709.7	661.7	697.2	744.6	713.5	685.0	4	0
Recycled gold	1,649.4	1,590.7	407.9	460.5	422.3	382.8	389.0	433.3	385.6	366.6	-4	-6
Total supply	4,498.3	4,407.7	1,133.0	1,206.1	1,132.0	1,044.5	1,086.2	1,177.9	1,099.1	1,051.6	1	-2
Demand												
Fabrication												
Jewellery ³	1,975.1	1,895.4	500.0	472.2	432.3	502.7	423.2	487.1	482.4	520.0	3	0
Technology	451.7	407.5	118.2	115.2	103.4	105.8	103.3	102.1	96.2	102.0	-4	-9
Sub-total above fabrication	2,426.8	2,302.9	618.2	587.4	535.7	608.5	526.6	589.2	578.6	622.0	2	-1
Total bar and coin demand	1,513.4	1,246.7	335.8	419.8	357.2	342.5	284.1	284.2	335.8	377.7	10	-12
ETFs and similar	185.1	279.0	54.1	87.4	104.4	53.2	0.0	137.8	88.1	-176.9	-	-84
Central bank net purchases ⁴	456.8	533.2	66.2	140.8	112.8	115.2	161.4	110.2	146.4	109.2	-5	21
Gold demand	4,582.1	4,361.9	1,074.3	1,235.4	1,110.1	1,119.4	972.1	1,121.4	1,148.9	932.0	-17	-8
OTC investment and stock flows ⁵	-83.8	45.8	58.7	-29.3	21.9	-75.0	114.1	56.5	-49.8	119.6	-	-
Total demand	4,498.3	4,407.7	1,133.0	1,206.1	1,132.0	1,044.5	1,086.2	1,177.9	1,099.1	1,051.6	1	-2
London PM fix (US\$/oz)	1,571.5	1,669.0	1,506.1	1,702.1	1,688.0	1,690.6	1,609.5	1,652.0	1,721.8	1,631.8	-3	0

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended March 2013 vs 12 months ended March 2012.

3 Jewellery fabrication. The quarterly data differ from those for jewellery consumption shown in Table 2. Fabrication is the first transformation of gold bullion into a semi-finished or finished product. Jewellery consumption is equal to fabrication plus/minus jewellery imports/exports plus/minus stocking/de-stocking by distributors and manufacturers. On an annual basis, the consumption and fabrication data series will reconcile.

4 Excluding any delta hedging of central bank options.

5 This includes institutional investment (other than ETFs and similar), stock movements and other elements as well as any residual error.

Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council. Data in the table are consistent with those published by Thomson Reuters GFMS in their Gold Survey but adapted to the World Gold Council's presentation.

表8: インドの供給推計(トン)

Figures in tonnes	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13 ¹	2012
Supply						
Net imports, available for domestic consumption	228	153	223	255	215	860
Domestic supply from recycled gold	25	30	34	28	21	117
Domestic supply from other sources ²	3	2	2	3	2	10
Equals total supply ³	256	185	260	286	238	987

1 Provisional.

2 Domestic supply from local mine production, recovery from imported copper concentrates and disinvestment.

3 This supply can be consumed across the three sectors – jewellery, investment and technology. Consequently, the total supply figure in the table will not add to jewellery plus investment demand for India.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表9: 各国の消費者需要: 2013年第1四半期(トン)

	Q1'12			Q1'13*			Q1'13* vs Q1'12, % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	138.3	63.8	202.1	159.5	97.0	256.5	15	52	27
Greater China	163.5	92.2	255.7	194.1	112.3	306.4	19	22	20
China	155.1	90.1	245.2	184.8	109.5	294.3	19	22	20
Hong Kong	6.4	0.5	6.9	7.1	0.6	7.7	11	10	11
Taiwan	2.0	1.6	3.6	2.2	2.2	4.4	10	38	22
Japan	4.1	-3.4	0.7	4.0	-4.3	-0.3	-2	-	-
Indonesia	10.6	8.9	19.5	11.2	5.8	17.0	5	-35	-13
South Korea	3.8	0.9	4.7	3.4	0.7	4.1	-11	-22	-13
Thailand	1.7	31.3	33.0	1.6	35.9	37.5	-6	15	14
Vietnam	5.0	17.4	22.4	4.4	14.2	18.6	-12	-18	-17
Middle East	42.1	7.8	49.8	48.4	7.7	56.1	15	-1	13
Saudi Arabia	11.4	3.8	15.2	12.0	4.0	16.0	5	5	5
Egypt	9.4	0.5	9.8	12.6	0.5	13.0	34	4	33
UAE	16.8	2.7	19.5	19.4	2.5	21.9	15	-9	12
Other Gulf	4.5	0.8	5.3	4.5	0.8	5.3	1	-5	0
Turkey	15.4	15.3	30.7	16.5	11.1	27.6	7	-27	-10
Russia	16.7	-	16.7	17.3	-	17.3	4	-	4
USA	17.7	14.1	31.8	18.8	20.1	38.9	6	43	22
Europe ex CIS	6.2	65.9	72.2	5.6	47.5	53.1	-10	-28	-26
Italy	3.4	-	3.4	3.0	-	3.0	-12	-	-12
UK	2.9	-	2.9	2.7	-	2.7	-7	-	-7
France	-	0.8	0.8	-	0.3	0.3	-	-64	-64
Germany	-	21.3	21.3	-	18.7	18.7	-	-12	-12
Switzerland	-	26.7	26.7	-	14.2	14.2	-	-47	-47
Other Europe	-	17.1	17.1	-	14.3	14.3	-	-16	-16
Total above	425.0	314.2	739.2	484.7	348.0	832.7	14	11	13
Other	65.8	28.3	94.1	66.3	29.7	96.0	1	5	2
World total	490.8	342.5	833.3	551.0	377.7	928.7	12	10	11

*Provisional.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表10: 各国の消費者需要: 2013年第1四半期(金額ベース、百万米ドル)

	Q1'12			Q1'13*			Q1'13* vs Q1'12, % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	7,517	3,468	10,985	8,368	5,089	13,457	11	47	23
Greater China	8,887	5,011	13,899	10,184	5,889	16,073	15	18	16
China	8,430	4,897	13,327	9,695	5,745	15,440	15	17	16
Hong Kong	348	27	375	372	29	401	7	6	7
Taiwan	109	87	196	116	115	232	7	33	18
Japan	223	-185	38	211	-226	-15	-5	-	-
Indonesia	576	484	1,060	585	304	889	2	-37	-16
South Korea	204	49	253	176	37	212	-14	-25	-16
Thailand	91	1,704	1,794	82	1,886	1,968	-9	11	10
Vietnam	269	946	1,215	229	745	974	-15	-21	-20
Middle East	2,286	422	2,708	2,541	404	2,945	11	-4	9
Saudi Arabia	622	207	828	629	210	839	1	2	1
Egypt	508	25	533	658	25	684	30	1	28
UAE	913	147	1,060	1,018	129	1,146	11	-12	8
Other Gulf	242	44	287	236	40	276	-3	-9	-4
Turkey	837	831	1,668	866	582	1,448	3	-30	-13
Russia	908	-	908	907	-	907	0	-	0
USA	964	767	1,730	986	1,054	2,041	2	38	18
Europe ex CIS	339	3,583	3,922	295	2,492	2,787	-13	-30	-29
Italy	182	-	182	155	-	155	-15	-	-15
UK	157	-	157	141	-	141	-10	-	-10
France	-	45	45	-	16	16	-	-65	-65
Germany	-	1,158	1,158	-	981	981	-	-15	-15
Switzerland	-	1,451	1,451	-	745	745	-	-49	-49
Other Europe	-	929	929	-	750	750	-	-19	-19
Total above	23,100	17,080	40,180	25,430	18,256	43,687	10	7	9
Other	3,576	1,539	5,115	3,477	1,557	5,034	-3	1	-2
World total	26,677	18,619	45,295	28,907	19,814	48,721	8	6	8

*Provisional.

Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表11: 各国の消費者需要: 4四半期合計(トン)

	12 months ended Q1'12			12 months ended Q1'13*			Year on Year % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	558.1	328.8	886.9	573.2	345.4	918.6	3	5	4
Greater China	558.9	274.9	833.8	582.5	277.3	859.9	4	1	3
China	525.1	267.4	792.5	548.5	268.7	817.2	4	0	3
Hong Kong	26.9	1.9	28.7	27.0	2.0	29.0	0	10	1
Taiwan	7.0	5.7	12.6	7.1	6.6	13.7	2	17	8
Japan	16.6	-44.6	-28.0	17.4	-11.0	6.4	5	-	-
Indonesia	30.8	28.4	59.2	31.4	19.0	50.4	2	-33	-15
South Korea	11.3	2.9	14.1	9.0	2.5	11.5	-21	-12	-19
Thailand	3.5	105.7	109.2	2.9	82.7	85.6	-17	-22	-22
Vietnam	12.4	91.0	103.4	10.8	62.2	73.0	-13	-32	-29
Middle East	159.4	33.5	193.0	159.8	30.5	190.4	0	-9	-1
Saudi Arabia	53.4	17.5	70.9	47.7	16.5	64.2	-11	-6	-10
Egypt	34.7	2.2	36.9	42.9	2.1	44.9	24	-6	22
UAE	53.1	10.8	63.9	52.4	9.3	61.7	-1	-14	-3
Other Gulf	18.2	3.0	21.3	16.9	2.7	19.6	-7	-11	-8
Turkey	66.5	70.9	137.4	62.6	43.8	106.4	-6	-38	-23
Russia	66.4	-	66.4	70.2	-	70.2	6	-	6
USA	113.7	77.1	190.8	109.5	59.4	168.9	-4	-23	-11
Europe ex CIS	49.3	357.2	406.5	43.0	257.6	300.6	-13	-28	-26
Italy	27.0	-	27.0	21.9	-	21.9	-19	-	-19
UK	22.3	-	22.3	21.1	-	21.1	-5	-	-5
France	-	6.9	6.9	-	2.4	2.4	-	-65	-65
Germany	-	142.9	142.9	-	107.1	107.1	-	-25	-25
Switzerland	-	114.7	114.7	-	68.0	68.0	-	-41	-41
Other Europe	-	92.7	92.7	-	80.1	80.1	-	-14	-14
Total above	1,646.9	1,325.7	2,972.6	1,672.3	1,169.4	2,841.7	2	-12	-4
Other	264.3	129.6	393.9	283.4	112.5	395.8	7	-13	0
World total	1,911.3	1,455.3	3,366.5	1,955.6	1,281.9	3,237.5	2	-12	-4

*Provisional.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表12: 各国の消費者需要: 4四半期合計(金額ベース、百万米ドル)

	12 months ended Q1'12			12 months ended Q1'13*			Year on Year % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	29,308	17,212	46,520	30,514	18,449	48,963	4	7	5
Greater China	29,753	14,635	44,388	30,991	14,733	45,724	4	1	3
China	27,965	14,236	42,201	29,184	14,273	43,456	4	0	3
Hong Kong	1,421	98	1,519	1,432	108	1,540	1	10	1
Taiwan	367	301	668	376	352	727	2	17	9
Japan	879	-2,375	-1,496	923	-593	330	5	-	-
Indonesia	1,645	1,508	3,153	1,666	1,010	2,676	1	-33	-15
South Korea	601	150	751	474	132	606	-21	-12	-19
Thailand	186	5,650	5,835	153	4,379	4,533	-17	-22	-22
Vietnam	658	4,874	5,532	570	3,309	3,879	-13	-32	-30
Middle East	8,383	1,783	10,166	8,477	1,626	10,103	1	-9	-1
Saudi Arabia	2,791	929	3,720	2,525	879	3,404	-10	-5	-8
Egypt	1,840	118	1,957	2,282	111	2,393	24	-6	22
UAE	2,788	574	3,363	2,773	493	3,266	-1	-14	-3
Other Gulf	964	162	1,126	896	143	1,040	-7	-11	-8
Turkey	3,493	3,773	7,265	3,304	2,308	5,612	-5	-39	-23
Russia	3,522	-	3,522	3,740	-	3,740	6	-	6
USA	6,062	4,072	10,134	5,866	3,160	9,027	-3	-22	-11
Europe ex CIS	2,620	19,076	21,697	2,319	13,699	16,018	-12	-28	-26
Italy	1,432	-	1,432	1,178	-	1,178	-18	-	-18
UK	1,188	-	1,188	1,141	-	1,141	-4	-	-4
France	-	371	371	-	128	128	-	-65	-65
Germany	-	7,653	7,653	-	5,690	5,690	-	-26	-26
Switzerland	-	6,125	6,125	-	3,622	3,622	-	-41	-41
Other Europe	-	4,927	4,927	-	4,259	4,259	-	-14	-14
Total above	87,110	70,358	157,468	88,997	62,213	151,210	2	-12	-4
Other	13,992	6,876	20,867	15,110	5,990	21,100	8	-13	1
World total	101,102	77,234	178,336	104,107	68,203	172,310	3	-12	-3

*Provisional.

Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

金需要の過去データ

表13: 金需要の過去データ¹

	Tonnes						US\$bn					
	Jewellery	Total bar and coin invest	ETFs and similar	Tech-nology	Central banks	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	ETFs and similar	Tech-nology	Central banks	Total
2003	2,484	304	-	386	-620	2,594	29.0	3.6	-	4.5	-7.2	30.3
2004	2,616	355	133	419	-479	3,044	34.4	4.7	1.7	5.5	-6.3	40.0
2005	2,719	396	208	438	-663	3,098	38.9	5.7	3.0	6.3	-9.5	44.3
2006	2,300	416	260	468	-365	3,079	44.6	8.1	5.1	9.1	-7.1	59.8
2007	2,423	438	253	476	-484	3,107	54.2	9.8	5.7	10.6	-10.8	69.5
2008	2,304	872	321	461	-235	3,723	64.6	24.4	9.0	12.9	-6.6	104.4
2009	1,816	783	623	410	-34	3,598	56.8	24.5	19.5	12.8	-1.0	112.5
2010	2,020	1,208	382	465	77	4,153	79.5	47.5	15.0	18.3	3.0	163.5
2011	1,975	1,513	185	452	457	4,582	99.8	76.5	9.4	22.8	23.1	231.5
2012	1,895	1,247	279	407	533	4,362	101.7	66.9	15.0	21.9	28.6	234.1
Q1'07	566	117	36	117	-72	764	11.8	2.4	0.8	2.4	-1.5	16.0
Q2'07	666	135	-3	119	-145	773	14.3	2.9	-0.1	2.6	-3.1	16.6
Q3'07	604	112	139	117	-170	804	13.2	2.5	3.1	2.6	-3.7	17.6
Q4'07	578	65	80	111	-97	737	14.6	1.6	2.0	2.8	-2.4	18.6
Q1'08	484	101	73	122	-76	703	14.4	3.0	2.2	3.6	-2.3	20.9
Q2'08	559	149	4	124	-68	770	16.1	4.3	0.1	3.6	-1.9	22.2
Q3'08	694	283	149	119	-76	1,169	19.4	7.9	4.2	3.3	-2.1	32.7
Q4'08	567	346	95	96	-12	1,092	14.5	8.8	2.4	2.5	-0.3	27.9
Q1'09	356	147	465	88	-62	994	10.4	4.3	13.6	2.6	-1.8	29.0
Q2'09	445	210	68	102	9	834	13.2	6.2	2.0	3.0	0.3	24.7
Q3'09	492	210	42	107	10	861	15.2	6.5	1.3	3.3	0.3	26.6
Q4'09	522	211	42	113	10	897	18.5	7.5	1.5	4.0	0.4	31.7
Q1'10	528	252	6	114	58	958	18.8	9.0	0.2	4.1	2.1	34.2
Q2'10	415	304	296	116	14	1,144	16.0	11.7	11.4	4.5	0.5	44.0
Q3'10	514	310	50	120	23	1,017	20.3	12.2	2.0	4.7	0.9	40.1
Q4'10	564	342	30	116	-17	1,034	24.8	15.0	1.3	5.1	-0.8	45.5
Q1'11	555	401	-61	115	137	1,146	24.7	17.9	-2.7	5.1	6.1	51.1
Q2'11	491	336	54	118	66	1,065	23.8	16.3	2.6	5.7	3.2	51.6
Q3'11	457	420	87	115	141	1,220	25.0	23.0	4.8	6.3	7.7	66.8
Q4'11	472	357	104	103	113	1,150	25.6	19.4	5.7	5.6	6.1	62.4
Q1'12	491	343	53	106	115	1,108	26.7	18.6	2.9	5.8	6.3	60.2
Q2'12	421	284	0	103	161	970	21.8	14.7	0.0	5.3	8.4	50.2
Q3'12	462	284	138	102	110	1,096	24.5	15.1	7.3	5.4	5.9	58.2
Q4'12	522	336	88	96	146	1,188	28.9	18.6	4.9	5.3	8.1	65.8
Q1'13 ²	551	378	-177	102	109	963	28.9	19.8	-9.3	5.4	5.7	50.5

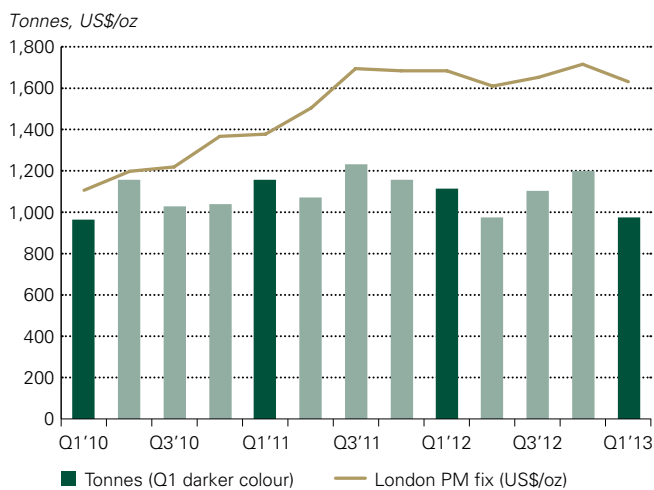
1 See footnotes to Table 3.

2 Provisional.

Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

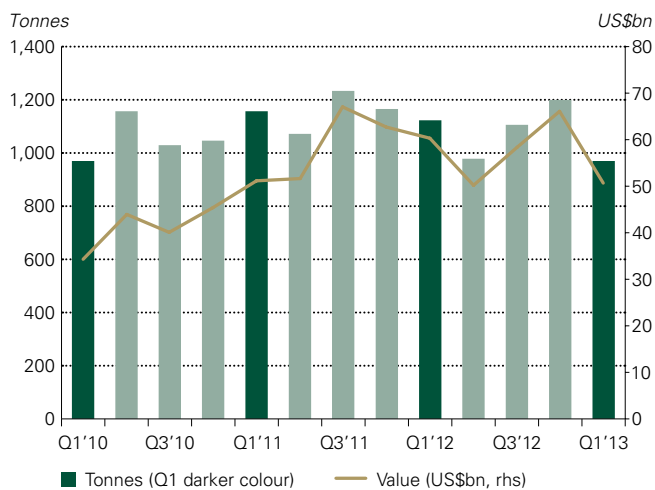
付録

図9: 金需要(トン)および金価格(米ドル/オンス)



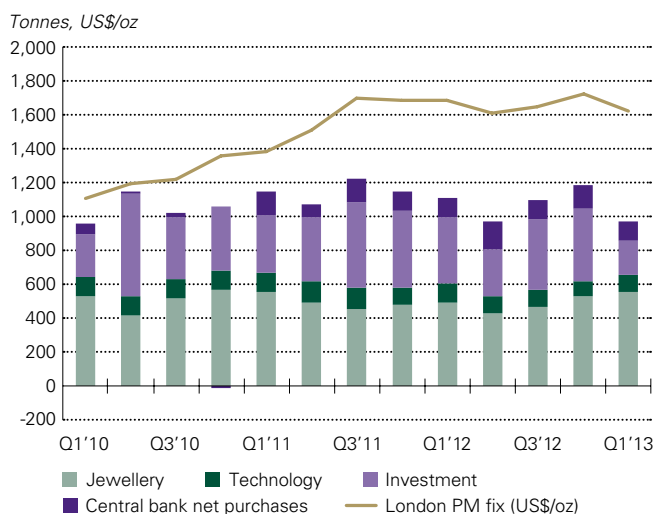
Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図10: 金需要(トン、10億米ドル)



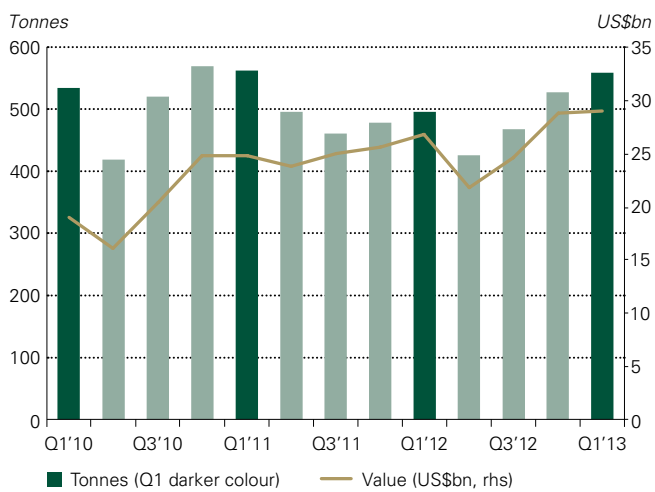
Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図11: 分野別金需要(トン)および金価格(米ドル/オンス)



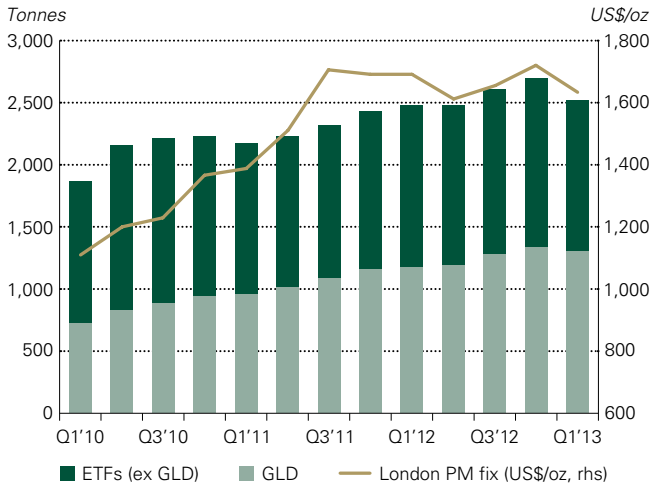
Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図12: 宝飾品需要(トン、10億米ドル)



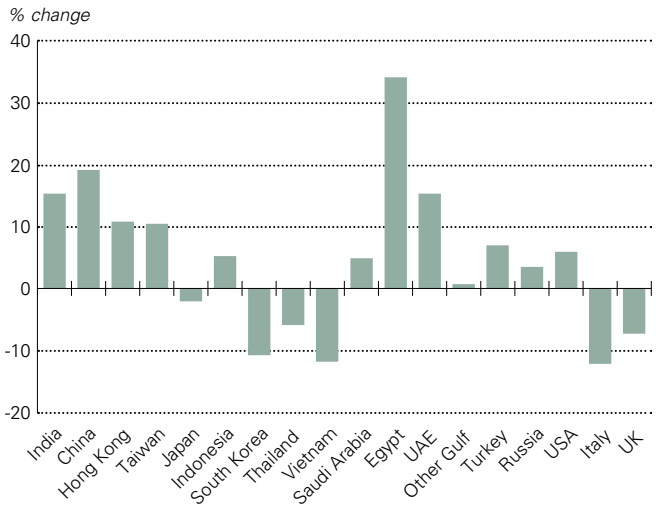
Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図13: 金ETF保有残高(トン)および金価格(米ドル/オンス)



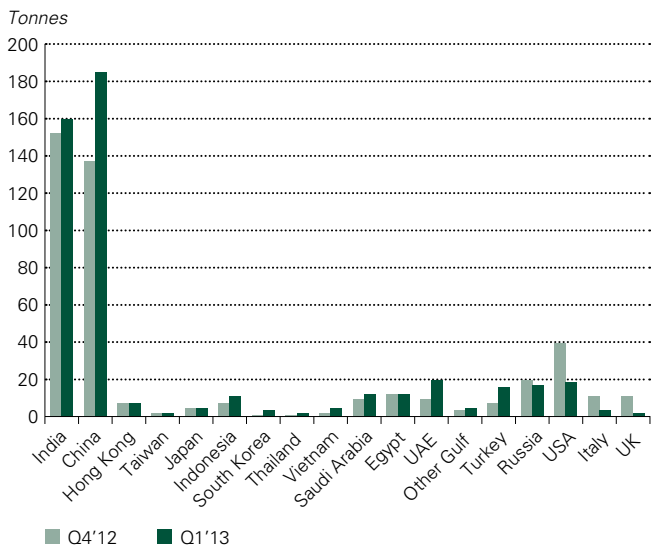
Source: Thomson Reuters Datastream, Thomson Reuters GFMS, www.exchangetradedgold.com, World Gold Council

図14: 国別宝飾品需要 (2013年第1四半期 vs 2012年第1四半期のトンベースの変化率)



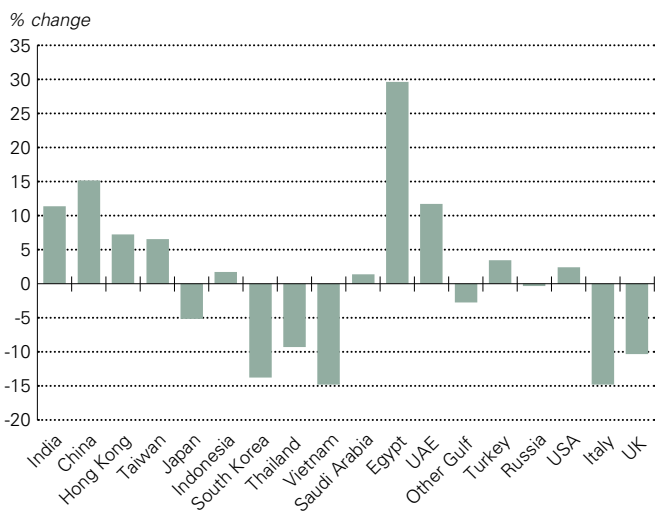
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図15: 宝飾品需要 (2013年第1四半期 vs 2012年第4四半期, トンベース)



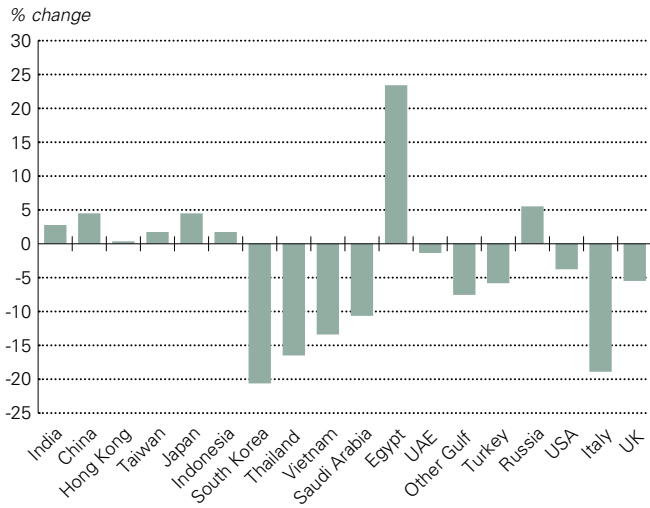
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図16: 国別宝飾品需要 (2013年第1四半期 vs 2012年第1四半期の米ドルベースの変化率(%))



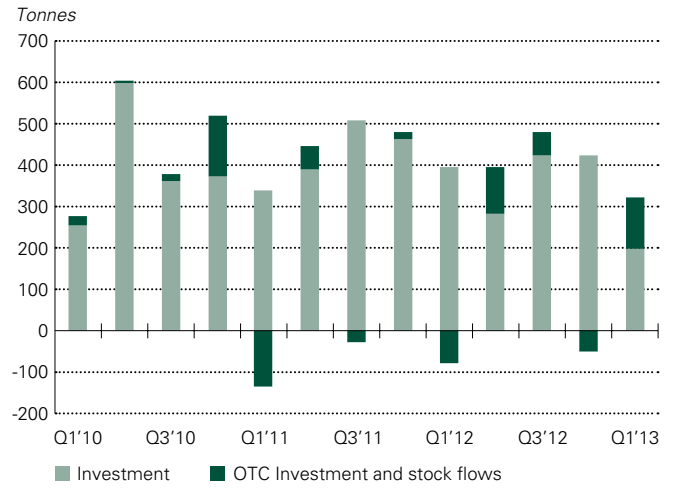
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図17: 国別宝飾品需要 (4四半期合計のトンベースの変化率(%))



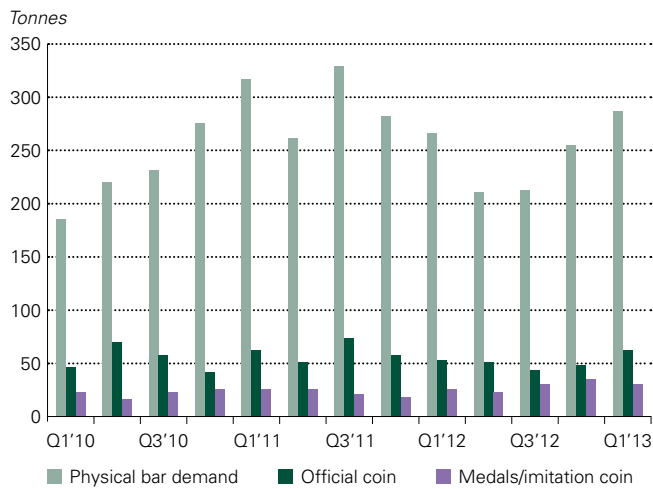
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図18: 金の総投資需要(トン)



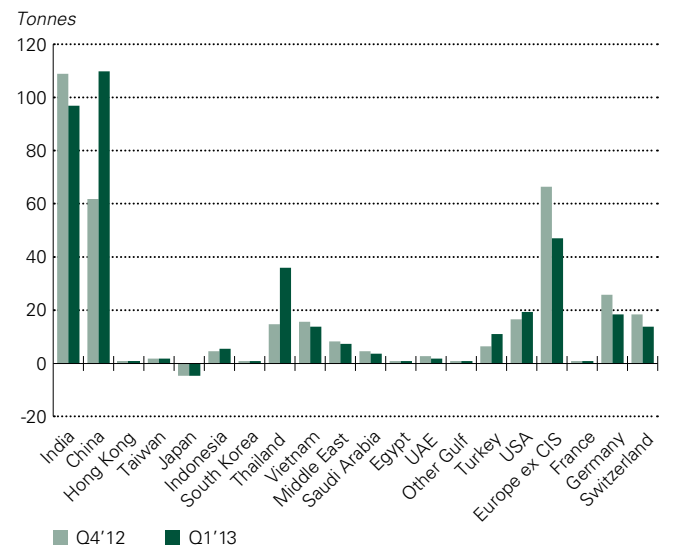
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図19: 分野別の金地金・金貨需要(トン)



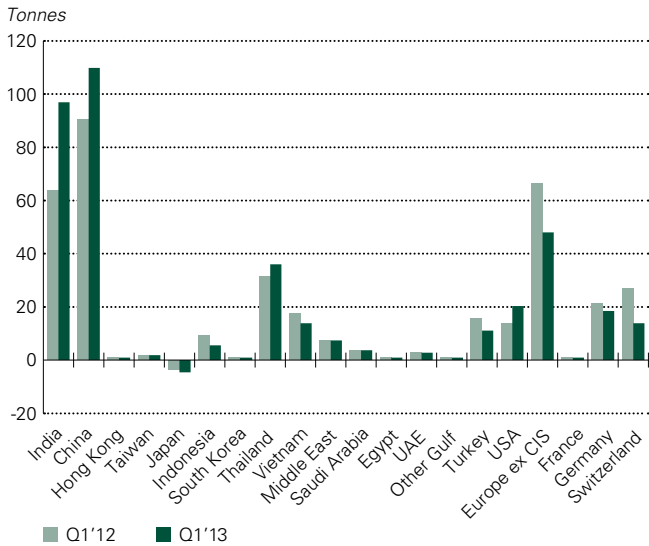
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図20: 金地金・金貨需要 (トン、2013年第1四半期と2012年第4四半期の比較)



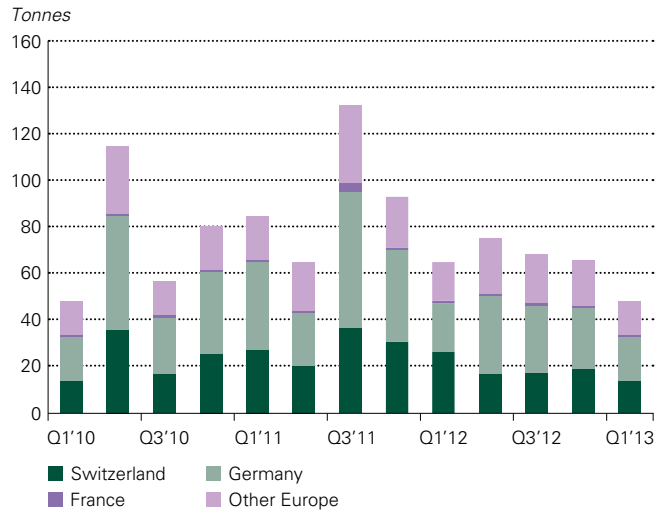
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図21: 金地金・金貨需要
(トン、2013年第1四半期と2012年第1四半期の比較)



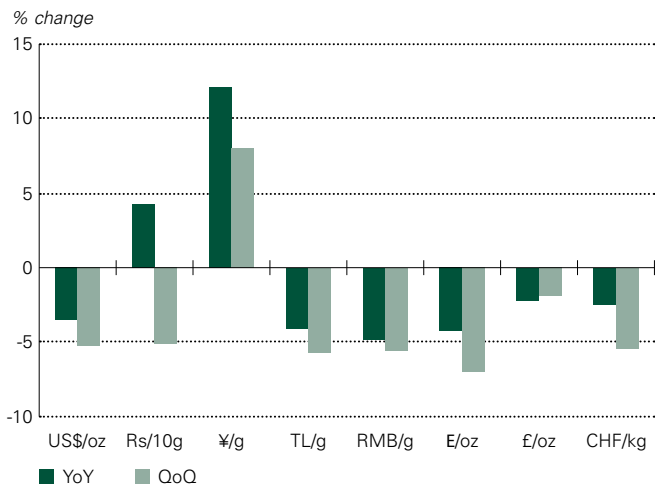
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図22: 欧州における金地金・金貨需要 (トン)



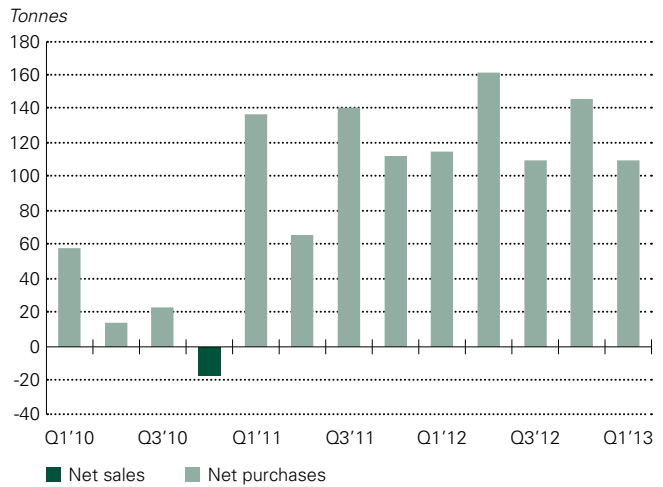
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図23: 2013年第1四半期におけるローカル通貨別の金平均価格変化
(年変化率、四半期変化率)



Source: Thomson Reuters Datastream, World Gold Council

図24: 公的セクターの需要(トン)



Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

注記および定義

統計情報はすべて(特に明記されない限り)純金の重量です。

“_”

該当なし、利用不可

消費者需要(Consumer demand)

ある国における宝飾品ならびに金地金・金貨の購入の総計(すなわち個人が直接取得した金の量)。

歯科用途(Dental)

未加工の金を使用して、歯科用途(歯科利用の合金など)の中間製品または最終製品に加工すること。

ETFおよびその類似商品(ETFs and similar products)

次のETFおよびその類似商品を含む: Gold Bullion Securities(London)、Gold Bullion Securities(Australia)、SPDR® Gold Shares(旧StreetTRACKS Gold Shares)、NewGold Gold Debentures、iShares Comex Gold Trust、ZKB Gold ETF、GOLDIST、ETF Securities Physical Gold、ETF Securities(Tokyo)、ETF Securities(NYSE)、XETRA-GOLD、Julius Baer Physical Gold、Central Fund of Canada and Central Gold Trust、Swiss Gold、iShares Gold Bullion Fund(旧Claymore Gold Bullion ETF)、Sprott Physical Gold Trust、ETF Securities Glitter、Mitsubishi Physical Gold ETF、CS ETF II(旧Credit Suisse Xmtch II)、Dubai Gold Securities。

製造(Fabrication)

金塊から中間製品または最終製品への最初の変換。

宝飾品(Jewellery)

新たに製造されたすべてのカラット宝飾品および金時計(純金か他の原料を含むかは問わない)。ただし次のものは除外:中古宝飾品、金でメッキされた他の金属、宝飾品として利用される金貨・金地金、既存の宝飾品を下取りに出しての購入。

London PM fix

特に記載されない限り、ロンドン金価格(ロンドン午後決め値)に基づく金価格。

鉱山生産(Mine production)

公式および非公式の生産高。

産金会社のネット・ヘッジ額(Net producer hedging)

産金会社による金の先売り、貸し付けおよびオプション・ポジションの現物市場に与える影響を測定。ヘッジは金の売却、つまり金を(既存の在庫から)市場に放出する取引を加速させる。ヘッジ活動が長期間にわたって金供給をネットで増加させることはない。ヘッジ解消(ヘッジ・ポジションを解消するプロセス)は反対の影響を及ぼすもので、ある四半期において市場で利用可能な金の量を減少させる。

中央銀行の純購入(Central bank net purchases)

中央銀行等の公的機関による金購入総額から売却総額を控除したもの。スワップおよびデルタ・ヘッジの影響は除外している。

店頭市場投資および在庫変動

(OTC Investment and stock flows)

部分的には統計上の残差。このデータは主に、不透明な店頭市場での需要を反映するもので、製造業の在庫変動を含む場合もある。

金地金現物の需要(Physical bar demand)

延べ棒状の金現物に対する投資需要。

リサイクル金(以前は「金スクラップ」と表示)(Recycled gold)

過去に作られた製品から再生、精製して延べ棒状にされた金。

テクノロジー(Technology)

電子部品や歯科、医療、産業、装飾等の技術的用途において製造段階で使用されるすべての金の需要。電子部品用が最も大きな割合を占める。また、宝飾品のメッキに使用される金も含まれる。

トン(Tonne)

純金1,000キログラムまたは32,151トロイオンス。

金地金・金貨の総需要(Total bar and coin demand)

欧州連合(EU)が採用している金投資の基準に基づいて定義される、個人が購入した金貨・金地金。ただし、欧米だけではなく非欧米諸国の金貨・金地金需要も含まれる。最低でも純度99%の金貨、また少量で販売されるワイヤや金の塊も含まれる。実際には、最終的に地金ではなく貨幣と見なされることを了解のうえで販売されている様々な金貨も含まれている。中古コインは除外され、数字はネットの購入額を表す。

総投資(Total investment)

投資にかかわるすべての需要の合計で、金地金・金貨現物への需要、ETFおよびそれに類似する商品に対する需要、店頭市場投資および在庫変動を含む。

データの改訂

データはすべて、新しい情報に照らして改訂される可能性があります。

過去データ

データは、本レポート公表後ブルームバーグから入手できます。またはトムソン・ロイター・GFMS社(+44 20 7369 7015、jadwiga.zajac@thomsonreuters.com)へお問い合わせください。



情報元および著作権、免責事項について

© 2013 World Gold Council. 本レポートで言及されている金の供給および需要に関する統計情報は、そのように明記されている場合はトムソン・ロイター・GFMS社によって編集されたものです。トムソン・ロイター・GFMS社はかかる統計情報に関するすべての権利を保持します。© 2013

All rights reserved. 以下に記載される場合を除き、いかなる組織または個人も、著作権所有者の書面による合意なしに本レポート内の金の供給および需要に関する統計情報を再生、配布、使用することはできません。本レポート内の統計情報の使用は、以下の2つの前提条件に従って検討および解説(メディアでの解説を含みます)することを目的とする場合に許可されます。第1の前提条件は、限られたデータ抽出内容のみが使われることです。第2の前提条件は、これらの統計情報を使用するすべてのケースでワールド・ゴールド・カウンシルが、また必要に応じて情報元であるトムソン・ロイター・GFMS社が明白に了解していることです。解説および他のワールド・ゴールド・カウンシルの資料からの短い抽出内容については、ワールド・ゴールド・カウンシルが情報元として引用されることを条件に許可されます。本レポートまたはそれに含まれる統計情報の全部もしくは大部分を再生、配布、使用することはできません。

本レポートでは情報の正確性を確保するためにあらゆる努力がなされていますが、ワールド・ゴールド・カウンシルもトムソン・ロイター・GFMS社もかかる正確性を保証しません。また、本レポートに含まれる資料は、特定の受領者もしくは組織の特定の投資目的、財務状態または特別なニーズとはいかなる関係もありません。本レポートは情報を提供することのみを目的として公表されており、金や金に関連する商品、その他の商品や有価証券、投資商品を売買したり売買するように薦めたりするためのものと解釈すべきではありません。

本レポートに含まれる情報の正確性、完全性、信頼性に関しては、明示的か黙示的かを問わず、いかなる種類の表明または保証もされません。ワールド・ゴールド・カウンシルおよびトムソン・ロイター・GFMS社は、本レポートの使用から直接または間接的に生じるいかなる損失または損害に対するいかなる責任も負わないものとします。

本レポートには、将来の見通しに関する記述が含まれています。「考える(believes)」、「予想する(expects)」、「可能性がある(may)」、「示唆する(suggests)」、またはそれらに類似する意味を持つ用語の使用は、「将来の見通し」に関する記述とします。本レポートに含まれる将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確実な要素を含む現在の予想に基づくものです。これらの将来に関する記述は、トムソン・ロイター・GFMS社によって編集された統計情報に基づいてワールド・ゴールド・カウンシルが行った分析に基づいています。上記に関する推定には、とりわけ将来の経済的な状況や、競争的な状況、市場の状況に関する判断が含まれており、これらはすべて正確に予測することが困難であるか、あるいは不可能なものです。また、金の需要および国際的な金市場は、将来の見通しに関する記述に特有の不確実性を増大させる様々なリスクに影響されます。本レポートに含まれている「将来の見通しに関する情報」に特有の大きな不確実性を考慮すれば、かかる情報を含めることは、将来の見通しに関する記述が実際にそのようになるということにワールド・ゴールド・カウンシルが表明しているとは見なされるべきものではありません。本レポートでワールド・ゴールド・カウンシルが表明している将来に関する記述には過度に依存しないように警告します。新しい情報や将来の出来事等があっても、通常の公表サイクル時以外でワールド・ゴールド・カウンシルは将来の見通しに関する記述を更新または改訂する意向はありません。また、将来の見通しに関する記述の更新については、ワールド・ゴールド・カウンシルはいかなる責任も負わないものとします。



ISO14001環境規格の認証を受けた印刷です。

World Gold Council
10 Old Bailey, London EC4M 7NG
United Kingdom

E investment@gold.org

T +44 20 7826 4700

F +44 20 7826 4799

W www.gold.org